

石川県の透析室における 新型コロナウイルス感染対策の実態調査 ～アンケート調査と研修会での意見交換会より～

◎磯光江（金城大学看護学部）、越田美佳（JCHO金沢病院）、
澤田清美（みずほ病院）、大豊千恵（みずほ病院）

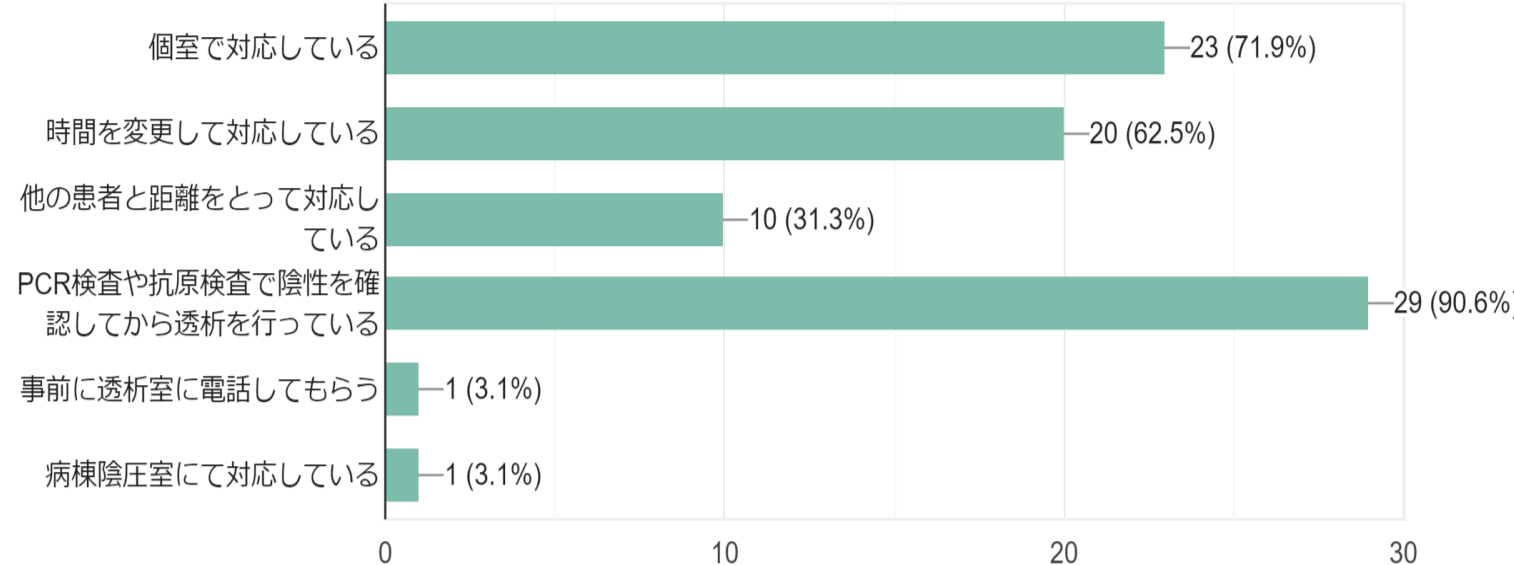
石川腎不全看護研究会では、2022年7月に石川県内の透析施設における新型コロナウイルス（以下COVID-19）への感染対策についてのアンケート調査を実施した。各透析施設での具体的な対策方法とどのようなことに困っているのかを調査し、その結果を9月に開催した研修会『他の透析施設ではどうしている？～COVID-19感染対策についての検討～』で、参加者と共有し、お互いの施設での取り組みについての意見交換を行ったので報告する。

【COVID-19感染対策のアンケート調査結果】

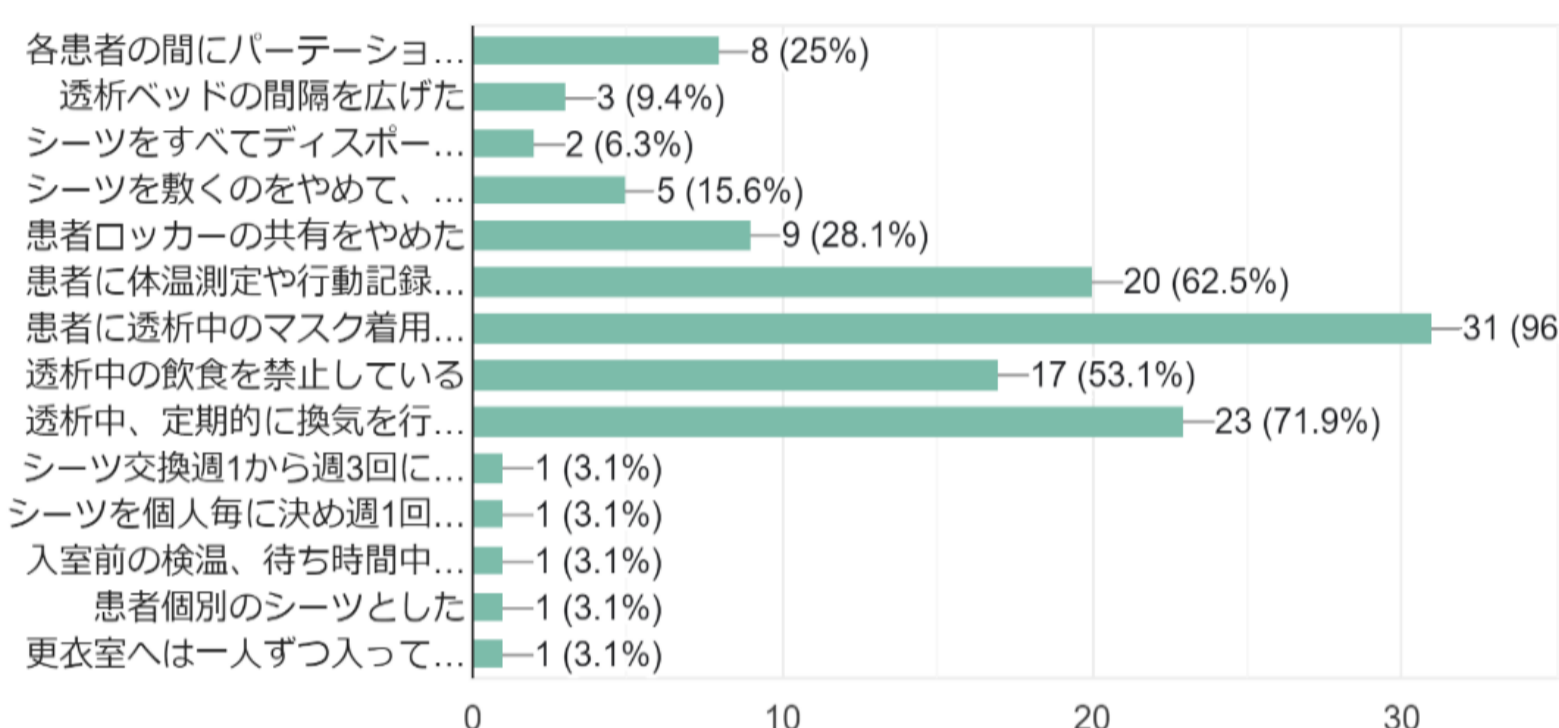
石川県内の透析施設41カ所にアンケート用紙を郵送し、32施設から回答があった。（回収率約78%）

- 施設について
 - 病院 78.1% (25件)
 - クリニック 21.9% (7件)
- 感染管理における有資格者の有無
 - いる 56% (18件)
 - ない 44% (14件)

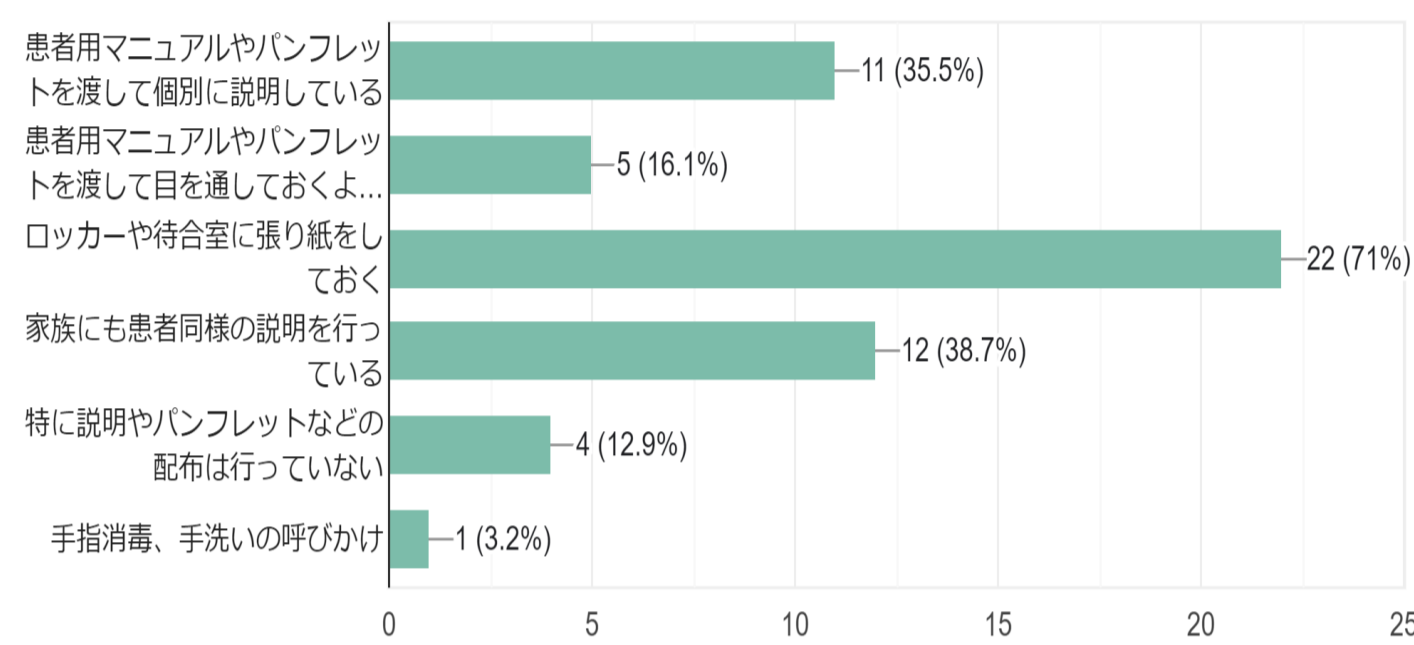
透析患者が濃厚接触者となったり、感染が疑わしい（発熱や咳などの症状がある）場合、どのような対応をしていますか？



貴院の透析室の環境面において、どのような感染対策をおこなっていますか？



患者へのCOVID-19の感染予防対策についての教育は、どのように行っていますか？



➤ COVID-19の感染予防対策において、実際にどんなことに困っていますか？（自由記載）

- ①個室が1床しかなく複数の患者対応が難しい。
- ②ワンフロアの透析センターなので、感染者が出た時は時間調整と場所の確保が大変である。
- ③スタッフが濃厚接触者や感染者となると応援体制が難しい。
- ④スタッフ教育の難しさ。感染対策の指導を行っても認識、理解してもらえず。何回説明しても「知らなかった」と言うスタッフがいる。
- ⑤外来患者の場合、会食などを行っていたら事前に教えてほしいと伝えているがなかなか教えてもらえない、又はあえて言ってくれない。
- ⑥個室使用などの理解が得られない。認知症患者など教育、協力の難しさがある。
- ⑦発熱や症状のある場合や、集会参加や県外移動の際は事前に電話してくださいと患者、家族に周知しているが、来院してから事実がわかったとき。何度自宅で検温してきてほしいと説明してもしてこない。

Zoom開催

2022年度INNC研修会
他の施設ではどうしているの？
～COVID-19感染予防対策について～

令和4年9月25日（日）
研修会・研究担当：磯、大豊、越田、澤田

透析施設における標準的な透析操作と
感染予防に関するガイドライン（五訂版）2020.4

我が国の透析医療はもともガイドライン準拠した感染対策が行われている。

自施設の患者の病態、社会的な要請、コスト負担能力により「身の丈に合った」感染対策をそれぞれの施設レベルで考える必要性

ゾーニングの考え方

- 汚染区域と清潔区域を明確に区別する
- 汚染区域は可能な範囲で狭く設定する
- ナースステーションは原則、清潔区域
- 個人防護具の着用場所と脱衣場所は明確に指定する
- ゾーニングを明確に（ポスター掲示、ビニールテープ、パーテーション等の利用）
- 感染者とそれ以外の人の動き、流れが交差しない工夫
- スタッフの動線を確認する
- 担当者分けたり、ケアの順番を考慮する

清潔区域 汚染区域 準汚染区域

研修参加者：14名（10施設）
感染管理認定看護師からの講義のあと、3つのグループに分かれて意見交換を行った。

感染管理認定看護師からは、手指消毒の大切さ、ゾーニングの考え方、環境整備などについて講義していただいた。



➤ 話し合われた内容

- ・シーツ交換や環境整備について
- ・ベッドの間隔：ベッドの間隔が2m空けられない場合、パーテーションやロールカーテンを使用している施設が多い。
- ・換気について：サーキュレーター、CO2モニターで換気を確認する。
- ・患者教育については、高齢者が多いので家族に案内用紙を渡す。それでも透析室で発熱が発覚することが度々ある。

➤ 今回の成果と課題

環境整備やシーツについては、施設によって対応が大きく異なっていた。今回、他施設の取り組みが確認されたことで、過剰であったことに気づく機会になった。

患者教育については、解決につながらなかった。高齢者がほとんどであるため、価値観や生活習慣、認知機能によっても影響を受けるので、全員が同じように理解するのは難しい。臨機応変な対応が求められる。

➤ 今回のグループワークにおいて特に印象に残っている対策やすぐに実施できそうな対策について（研修後のアンケートから）

- ・シーツ交換について自施設では2回/週行い、枕にはタオルを敷いて頂いている。他の施設の回数や工夫について自施設でも話合っていきたい。
- ・感染対策は万全にした方が良いと思っていたが「やりすぎない事」を考えないといけないと思った。やらなければならない事をやりすぎない事の丁度良いところを見極めていければ良いと思った。
- ・感染管理認定看護師さんの話は具体的でとても参考になった。
- ・感染対策を考える前に基本の手指衛生の実施を見直す。

日本透析医学会 COI開示
筆頭発表者 磯光江
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係はありません。